## 

突哨山運営協議会事務局 突哨山旭川市指定管理者 NPO法人もりねっと北海道 担当 中村直人 様

旭川市長あてに突哨山の昆虫類(甲虫)の許可願を送付した際の住所の番地と 電話番号の下一桁の数字が複写により一つ多い数字になり、間違ったことでわざ わざ中村様や黒川様にご足労おかけいたし誠に申し訳ございませんでした。

さて、私の許可願の写しはご覧になっているとのことの上で突哨山運営協議会 代表の出羽寛先生から再度、明確に詳細な内容をとのことですので、先日いただ いたFAXの質問事項に添って書いて見ましたのでご確認ください。

また、旭川市土木部公園みどり課の担当者様から許可申請に係る決まった様式はないとのことでしたが、改めて正式な許可申請書を突哨山運営協議会様に提出する必要がありましたら、どのように書いたらよいのかご教示ください。このことにより許可希望の5月1日を過ぎましたら許可承諾をいただいた後から突哨山の調査に入りますのでご安心ください。それまでは東鷹栖地区内の許可が必要ない突哨山以外の場所での調査でもしています。

旭川市東鷹栖 1 条 4 丁目638-54 松本英明 TEL 57-2823 FAX 57-2823 携帯電話番号 090-2693-8462

- Q:「1. 採集対象と採集方法および採集数について」
  - 「対象を甲虫目の種に限定とあるが、チョウ目やトンボ目は調査許可を受けていても捕虫網は使わず採集とある。」
- \*A: 私の書き方に誤解を生じたようです。「捕虫網は使わず採集」というのは、ほかの一般入山者に対して捕虫網を持っていると「昆虫採集禁止なのに虫を採っている」とあからさまに見え、誤解で通報されることのないよう、許可された甲虫を採るのに捕虫網を使用するスィーピング法はしないという意味からです。甲虫目以外の昆虫類の採集許可は不要ですし、他の昆虫の採集はしません。
- Q:「調査は質的な調査のみ(生息種の確認と過去の調査との比較)か量的な調査も行うのか。
- \*A:質問内容からしますと「質的な調査のみ」ということになるかと思います。「量的な調査」というのはピットホールトラップなどの不特定多数個体を殺虫採集してしまう採集個体数を数値化する調査のことでしょうか?これであれば実施はしません。あくまでも目で確認し捕獲数をコントロールできる採集法の調査しか行いませんので、採集数は3ペア程度と限定できる訳です。
- O:「·採集対象は甲虫目だけか、昆虫全般か?」
- \*A: 先に述べたように昆虫全般ではありません。甲虫目のみ採集許可ください。
- Q:「・採集方法を具体的に示してほしい(ライトトラップ法、そのほか)。」
- \*A: ライトトラップ法は、カーテン法で行なう。(別紙1図と写真参照) ほかの採集方法は一般採集 法の見つけ採りと叩き網(別紙2図参照)を使うビーティング法のみとし、その他の採集法である地面に設置する落とし穴のピットホールトラップ法や捕虫網を使うスィーピング法は行わない。
- Q:「・採集数は3ペア程度とあるが、ライトトラップ法とほかの採集方法によるものとの合計か。」
- \*A:採集数を3ペア程度としたのは、原則として種を同定するためにこれくらいが必要と考えての数です。記録データ上、ライトトラップ法は(LT)、叩き網を使うビーティング法は(Bt)などと分けるので別と言えば別ではありますが、種名がその場で分かるものについては1~2頭あればデータ上問題なく、1種類については合計でも3ペア程度で充分です。また、その場で種名が分かってすでにデータ記録の挙がっている種については採集しませんので、全ての甲虫種が3ペア程度を採る訳ではなく、同定しなければ種名の分からない種(1~2mmの微小種が大半)および報告する記録データに必要な数を1種類につき最も多くて3ペア程度にするということです。突哨山の私が挙げる最も古い記録データは1969年で、50年以上採集してきましたので、これから先は目にする95%以上の甲虫は既知種であり、今後の調査ではまだ未記録の種を1種類でも追加できるかとの戦いのようなものです。
- Q:「2.採集場所(ライトトラップ法、ほかの方法)とその箇所数。」
  - A: ライトトラップ法については車からインバーターで電源を確保するのでカタクリ広場の駐車場付近の1箇所のみとし、準備は19時ごろから実施は20時~23時くらいまでとする。回数は予定としては1回目6月、2回目7月、3回目8月とし、天候を見てよい条件の日に行う。必要であれば実施日の前日に事務局へ連絡を入れます。(当日の条件や私事で中止の時は中止を決定次第連絡する)見つけ採りとビーティング法については散策路沿いをラインセンサス的に行う。これの実施については5月1日~10月31日の間、依頼調査ではなく私的の調査ですので調査日は不定です。ただし事後報告でも必要でしたら期間終了後に紙面でお知らせします。調査時間についてはヒグマとの遭遇危険を避けるため天候のよい日中限り、早朝や夕方には入山調査は行わない。
- Q: 「3. 同行者名を明記すること。」
  - A:本人らに確認承諾の上、次の2名を挙げておきます。
    - 佐々木恵一:元旭川市職員、旭川市科学館サイパル新設からの初代館長を歴任し、旭川市在住の 現在65歳。北海道昆虫同好会評議員、日本甲虫学会会員。現在は年金受給でフリー。
    - 松本俊信:松本英明の実弟で、東京都町田市在住の現在63歳。自然環境研究センターに勤務 調査役で国家資格の技術士(環境部門)、生物分類技能検定1級(動物部門)を持つ。 日本甲虫学会会員。(報告する「旭川市東鷹栖地区の甲虫相」の共著予定者)

\*同じように許可申請者本人についても記しておきます。

松本英明:旭川市在住の現在67歳。北海道昆虫同好会評議員、日本甲虫学会会員。

現在は年金受給でフリー。今までに旭川市の自然保護調査の調査協力者、環境省の緑の国勢調査 参加員、建設省の河川水辺の国勢調査(石狩川上流・天塩川上流)調査員、北海道開発局旭川開発 建設部の「水と緑の渓流づくり検討業務」調査員など長年多くの調査に関わり行ってきた。

Q: 「4. 比布町側での採集調査は行わないのか。」

「捕獲申請は旭川側だけというのはわかりますが、突哨山の昆虫相となると比布町側も必要です。 (これは確認のため)」

\*A:今回の突哨山の許可願の理由は突哨山だけの調査をするためではなく、私の地元である旭川市東鷹栖地区(旧上川郡東鷹栖町)全域の甲虫相を調査することが前提で、その大きな範囲の中で、突哨山も調査するので公の許可が必要となりこの許可を願っている訳ですので、もし上川郡比布町突哨山エリアの許可をもらってもそこでは採集調査もしませんし、データも必要としません。調査報告書の仮題名ですが、報告書は「旭川市東鷹栖地区の甲虫相」ですのでご理解いただけますでしょうか。比布町との境界線上でのことを危惧されてのことでしたら、そこでの採集調査をしないこととします。私の必要とするデータは、あくまで旭川市東鷹栖突哨山のデータのみで上川郡比布町突哨山のデータを含めることはできません。今は先に述べた旭川市東鷹栖地区の行政区域内を調査することが精一杯ですが、調査報告が終わった後で別に比布町突哨山・村上山の調査をしてほしいなどの依頼がありましたら受けることはやぶさかではありませんが。「旭川市東鷹栖地区の甲虫相」のための調査は今年1年では終了しないかも知れません。来年も調査継続する時には再度突哨山の許可申請をお願いするかも知れませんので、その際はよろしくお願いします。

## 図1. ライトトラップ法 (カーテン法) 設置方法

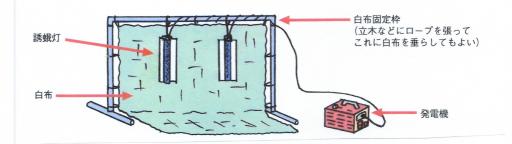


写真. ライトトラップ法の実施状況

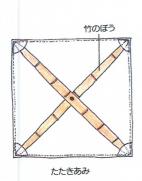


白布に集まった虫たち



採集風景

図2. ビーティング法の叩き網と採集方法





中村直人群

次の他川市東廣極地域で記録でいた甲虫目録の2枚は私が報告する予定の「旭川市東廣極地区の甲工相」のデタ目録の一部ですって参考として見て下さい。
もちんまで彼のものですし、追加程や追加データなどでどんなん変っていくと思いす。現在途中経過でんなを放すり、140種ほどになっており、報告を出するには、200種に達するものと考えるかす。これから降とに論文内容はまるなど考えていく

またち、そろうの事務局にも送付させていただっます。出期を置いもよろしくおはえていただ。

A2 4 -

旭川市東鷹栖地域で記録された甲虫目録

※採集方法:スィ-ピング/Sp, ピ-ティング/Bt, ピットホールトラップ/PT, ライトトラップ/n-テン法/LT, 外灯下/灯, 衝突板トラップ/FIT, 光源付き衝突板トラップ/L-FIT, 以上の表記のないものは、「見つけ採り」である。その他の採集方法 で表記できるものは具体的に記す。(殺虫剤のスプレーイングや池沼河川水中でのタモ網掬い等)

Cupedidae ナガヒラタムシ科

1 Tenomerga mucida (Chevrolat) ナガヒラタムシ

突哨山1ex.,3.VIII.2020,HM(灯),高台1ex.,26.VII.2015,HM(灯)

Gyrinidae ミズスマシ科

2 Dineutus orientalis (Modeer) オオミズスマシ

高台1ex.,16.IX.2004,HM(溜池水面タモ網掬い)

3 Gyrinus sachalinensis Kamiya ミヤマミズスマシ

鬼斗牛山(1984), (1991)

Rhysodidae セスジムシ科

4 Rhysodes comes (Lewis) トビイロセスジムシ

突哨山(1984),鬼斗牛山(1984)

Carabidae オサムシ科

5 Leistus niger Gebler キノカワゴミムシ

突哨山1ex.,17.VI.2020,HM(下草Bt), 鬼斗牛山1ex,23.VI, 1ex.,25.VII, 1ex.,8.VIII.2020,HM(下草BT)

6 Nebria subdilatata Motsulsky エゾマルクビゴミムシ

石狩川1ex.,5.VI.1987,HM(水辺の石起こし)

7 Nebria macrogona macrogona Bates オオマルクビゴミムシ基亜種

石狩川(1984), 市街地(1)

8 Nebria ochotica R.F.Sahlberg クロマルクビゴミムシ

石狩川1ex.,5.VI.1987,HM(水辺の石起こし)

9 Cicindera japana japana Motschulsky ニワハンミョウ基亜種

突哨山(1984), 1ex.,31. V.1983,HM(林道上)

10 Cicindera sachalinensis sachalinensis A.Morawitz ミヤマハンミョウ

突哨山(1991), 鬼斗牛山(1984), 1ex,13.Ⅶ.2019,HM(林道上)

11 Cicindera transbaicalica japanensis Chaudoir コニワハンミョウ

石狩川(1984), 1ex.,12.IV.2021,HM(水辺の砂地上)

12 Cylindera gracilis Pallas ホソハンミョウ

高台1ex.,.VIII.19,HM(裸地上)

13 Cylindera elisae novitia Bates エリザハンミョウ

突哨山(1984), 1ex.,15.Ⅷ.1970,HM(林道脇空き地), 石狩川(1984), 1ex.,12.Ⅳ.2021,HM(水辺の砂地上)

14 Calosoma cyanescens (Motschulsky) アオカタビロオサムシ

突哨山1ex.,10. X.1990,HM(PT), 鬼斗牛山5exs.,3. VI.1975,TM(PT), 1ex.,5. VI.1976,HM(PT)

15 Calosoma maximowiczi Morawitz クロカタビロオサムシ

突哨山1ex.,5.VI.1976,HM(PT)

16 Calosoma chinense chinense Kirby エゾカタビロオサムシ

突哨山(1984), 1ex.,29. VII. 2019, HM(灯), 鬼斗牛山(1984), 石狩川(1984)

17 Carabus gehinii aereicollis (G.Hauser) オオルリオサムシ道北亜種

突哨山(1984), 1ex.,12. V.1983,HM(PT), 2exs.,9. VI.2019,HM, 鬼斗牛山(1984), 1ex.,3. V.1975,TM(PT), 1ex.,10. VI.1975,HM

18 Carabus opaculus kurosawai Nakane ヒメクロオサムシ

突哨山(1984), 1ex.,26. V.1980,HM(PT), 1ex.,12.IX.2019,TM(林道上), 鬼斗牛山(1984), 2exs.,22. V.2020,HM(PT)

19 Carabus arcensis hokkaidoensis Lapouge コブスジアカガネオサムシ

鬼斗牛山(1984), 1ex.,3.VI.2020,HM(林道上)

20 Carabus granulatus yezoensis Bates アカガネオサムシ北海道亜種

突哨山(1984), 石狩川(1984)

21 Carabus blaptoides rugipennis (Motschulsky) マイマイカブリ北海道亜種

突哨山(1984), 1ex.,3.VIII.2020,HM, 鬼斗牛山(1984), 1ex.,16.VI.2019,HM, 石狩川(1984), 3exs.,6.IV.2021,HM(倒木中)

22 Carabus tuberculosus Dejean セアカオサムシ

石狩川1ex.,5~8.VI.2015,HM(PT)

23 Carabus arboreus pararboreus (Ishikawa) コクロナガオサムシ道央道東道北亜種

突哨山!1984), 1ex.,26.VI.1990,HM(林道上), 鬼斗牛山(1984), 石狩川1ex.,29.IV.2015,HM(河川敷石起こし)

24 Cychrus morawitzi morawitzi Gehin セダカオサムシ

突哨山(1984), 1ex.,11.IX.2020(側溝内),HM, 鬼斗牛山(1984), 石狩川(1984)

25 Loricera pilicornis pilicornis (Fabricius) ツノヒゲゴミムシ

鬼斗牛山1ex.,10. V.1987,HM(溜池水辺)

26 Omophron aequale aequale Morawitz カワラゴミムシ

石狩川1ex..5.VIII.1989,HM(灯), 1ex..23.VI.1990,HM(水辺の湿った砂地上), 市街地(I)

27 Elaphrus riparius (Linne) ヒメハンミョウモドキ

石狩川1ex.,5.VI.1987,HM(水辺の湿った砂地上)

28 Clivina fossor sachalinica Nakane カラフトヒメヒョウタンゴミムシ

鬼斗牛山1ex.,10. V.1987,HM(溜池水辺), 石狩川(I), (1984)

29 Dyschirius aeneas ovicollis Putzeys ダイミョウチビヒョウタンゴミムシ

石狩川1ex.,5.VI.1987,HM(水辺の湿った砂地上)

30 Dyschirius tristis Stephens アシグロチビヒョウタンゴミムシ

石狩川1ex.,5.VI.1987,HM(水辺の湿った砂地上)

31 Dyschirius yezoensis yezoensis Bates オオチビヒョウタンゴミムシ

石狩川(1), (1984)

32 Dyschirius hiogoensis (Bates) コチビチビヒョウタンゴミムシ

石狩川(1),(1984)

33 Craspedonotus tibialis Schaum オサムシモドキ

石狩川(1984)

34 Asaphidion semilucidum (Motschulsky) メダカチビカワゴミムシ

突哨山(1984), 鬼斗牛山1ex.,28.Ⅶ.2020,HM(下草Bt), 石狩川(Ⅰ), (1984), 市街地(Ⅰ)

35 Bembidion bandotaro Morita オオフタモンミズギワゴミムシ

突哨山1ex.,29.VII.2019,HM(灯), 石狩川(I)

36 Bembidion kamikochii Jedlicka カミコウチミズギワゴミムシ

石狩川1ex.,5.VI.1987,HM(水辺の石起こし)

37 Bembidion pseudolucillum Netolitzky ヒラタアオミズギワゴミムシ

鬼斗牛山4exs.,10. V.1987,HM(渓流石起こし)

38 Bembidion sanatum Bates ミヤマミズギワゴミムシ

突哨山(1984) \*井上寿氏の記録がもとで現在の男山自然公園内にあった小沢脇で採集と本人に聞いた当時筆者らも現地 調査したが見つからず、現在その小沢もない。土生博士の同定ではあるがそれ以降記録されず疑問種。

39 Bembidion trajectum Netolizky キアシルリミズギワゴミムシ

石狩川1ex.,5.VI.1987,HM(水辺の石起こし)

40 Bembidoin amaurum Bates オオルリミズギワゴミムシ

石狩川1ex.,5.VI.1987,1ex.,7.IV.2021,HM(水辺の石起こし)

41 Bembidion paediscum Bates ヨツボシケシミズギワゴミムシ

突哨山(1984), 1ex.,7.IX.2020,HM(灯), 鬼斗牛山2exs.,10. V.1987,HM(下草Bt), 石狩川(I)

42 Bembidion hiogoense Bates ヒョウゴミズギワゴミムシ

石狩川2exs.5~8.VI.2015,HM(PT), 2exs.,7.IV.2021,HM(水辺の石起こし)

43 Bembidion stenoderum stenoderum (Bates) ドウイロミズギワゴミムシ

石狩川(1), (1984)

44 Bembidion sibiricum Dejean イノウエマダラミズギワゴミムシ

鬼斗牛山1ex.,3. V.1983,HM(溜池水辺)

45 Bembidion niloticum batesi Putzeys アトモンミズギワゴミムシ